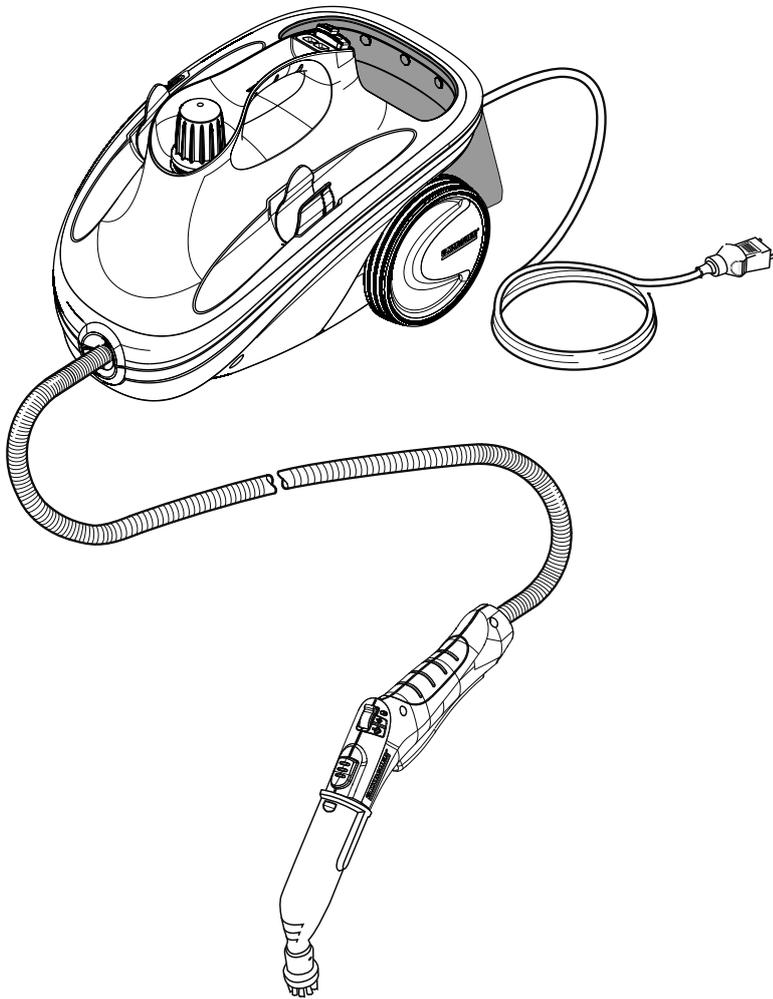


KÄRCHER

ケルヒャー家庭用スチームクリーナー **SC JTK 10 PLUS** 取扱説明書



この度は、ケルヒャー家庭用スチームクリーナーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。

お読みになられた後は、本書をすぐに取り出せる場所に保管してください。

※この製品は業務用ではございません。

※この製品は組み立てが必要です。

※この製品は動作テスト後出荷されているため、水分が多少残っている場合がございますが、製品の性能に問題はございません。

※ご使用前にボイラー内部を水ですすいでください。稀に白濁した水が出る場合があります。

はじめにお読みください

安全上のご注意

スチームクリーナーとは？

組み立て方

準備しましょう

使い方

お手入れ・点検・保管

故障かな？と思ったら

補修部品・
オプションアクセサリ

保証書・
アフターサービス

SC JTK 10 PLUS / 2017.04

5.967-747.0

SC JTK 10 PLUS 仕様一覧

品番	1.512-195.0
電源	100V 50/60Hz 共用
消費電力	1,500W
スチーム吐出圧力	0.32 MPa (※1)
安全弁作動圧力	0.6MPa ±0.05MPa (※1)
ボイラー加熱温度	約 143℃
ボイラータンク容量	1.0L
ヒートアップタイム(加熱時間)	約 6 分 (※2)
寸法(長さ×幅×高さ)	404×254×265mm
質量(本体のみ)	2.9kg
電源コード長さ	4m
<使用の目安>	
清掃面積	75 m ² (※3)
スチーム連続噴射時間	約 30 分
<交換時間>	
	(※4)
安全バルブ用 O リング	約 200 時間(約 200 回使用)
安全バルブ	約 1,000 時間(約 1,000 回使用)
定格使用時間	1 時間(※5)
防水性能	IPX4

※1 1MPa=10.2kg f/cm²

※2 水温20℃の際の仕様

※3 一般的な住宅の汚れに対し、1回の給水で清掃できる面積の目安

※4 作業累計時間

※5 定格使用時間=電源スイッチが入っているときの合計時間

- この製品は家庭用です。業務用としての使用は想定しておりません。
- この製品は一回当たり1時間、週に1、2回程度の使用を想定してデザイン・開発しております。
- 仕様・外観は、開発・改良により予告なく変更する場合があります。

はじめにお読みください…製品仕様

- ・仕様一覧
- ・各部の名称と機能
- ・組み立て前の部品一覧

安全上のご注意…正しくご使用いただくために

- ・注意点と警告表示
- ・ご使用時の警告 注意
- ・電気に関する警告
- ・特にご注意いただきたいこと

スチームクリーナーとは?…説明と各種洗浄方法

- ・スチームクリーナーのご説明

組み立て方…本体の組み立てと準備

- ・ホイールとキャスターの取り付け

準備しましょう…各種準備について

- ・給水
- ・電源とヒートアップ

使い方…各種使用方法

- ・きれいにする場所に合せてアクセサリーを選びましょう
- ・安全にきれいに掃除するために
- ・作業を中断、終了する場合
- ・フレキシブルフロアノズルの使用方法

お手入れ・点検・保管…各種注意点

- ・お手入れとすすぎ
- ・ボイラーの洗浄方法
- ・点検と保管

故障かな?と思ったら…状況に応じた対処法

- ・各種原因と対処方法について

補修部品・オプション…別売りのアクセサリー

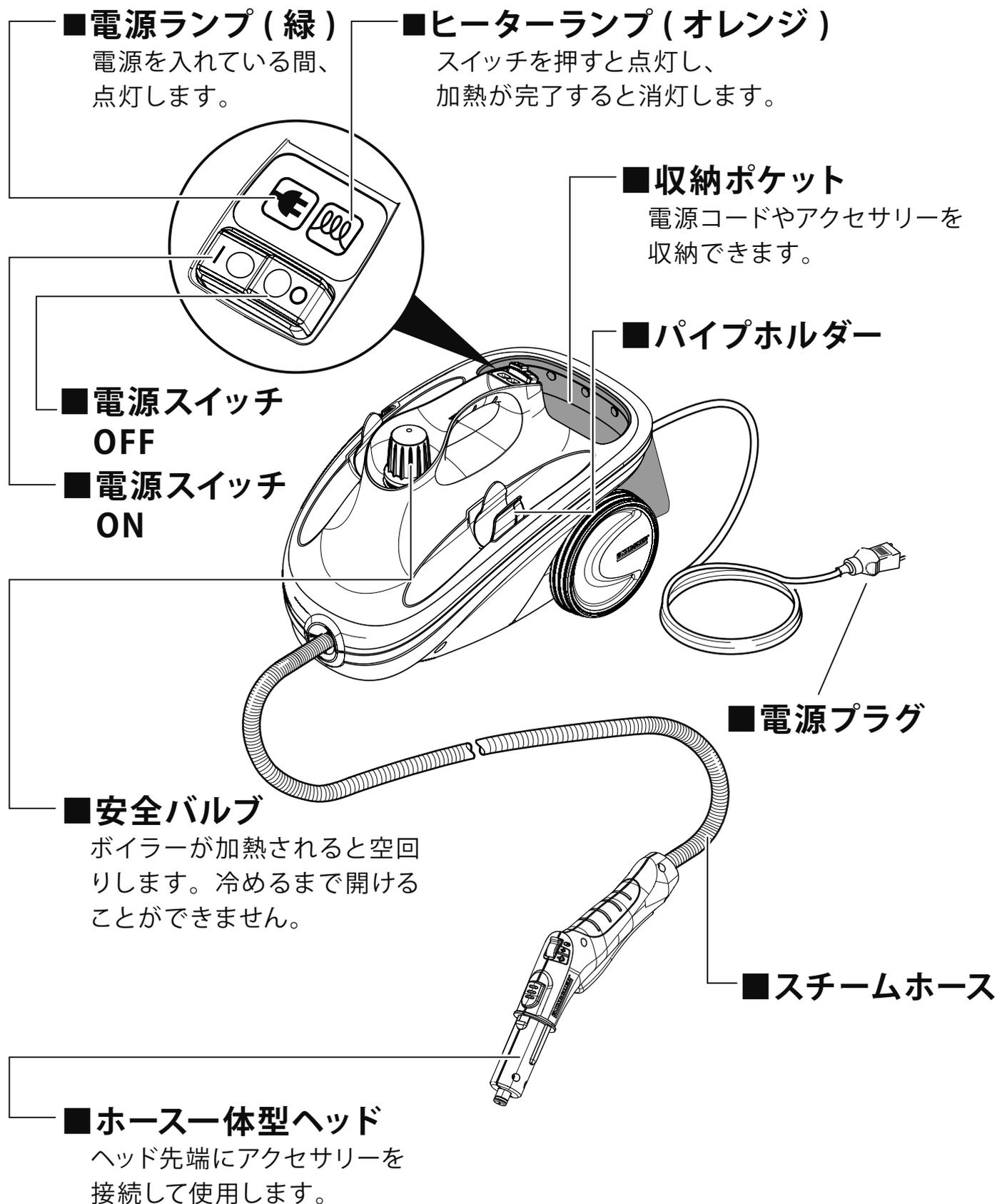
- ・補修部品一覧
- ・オプションアクセサリー一覧

保証書・アフターサービス…保証・お問い合わせ先

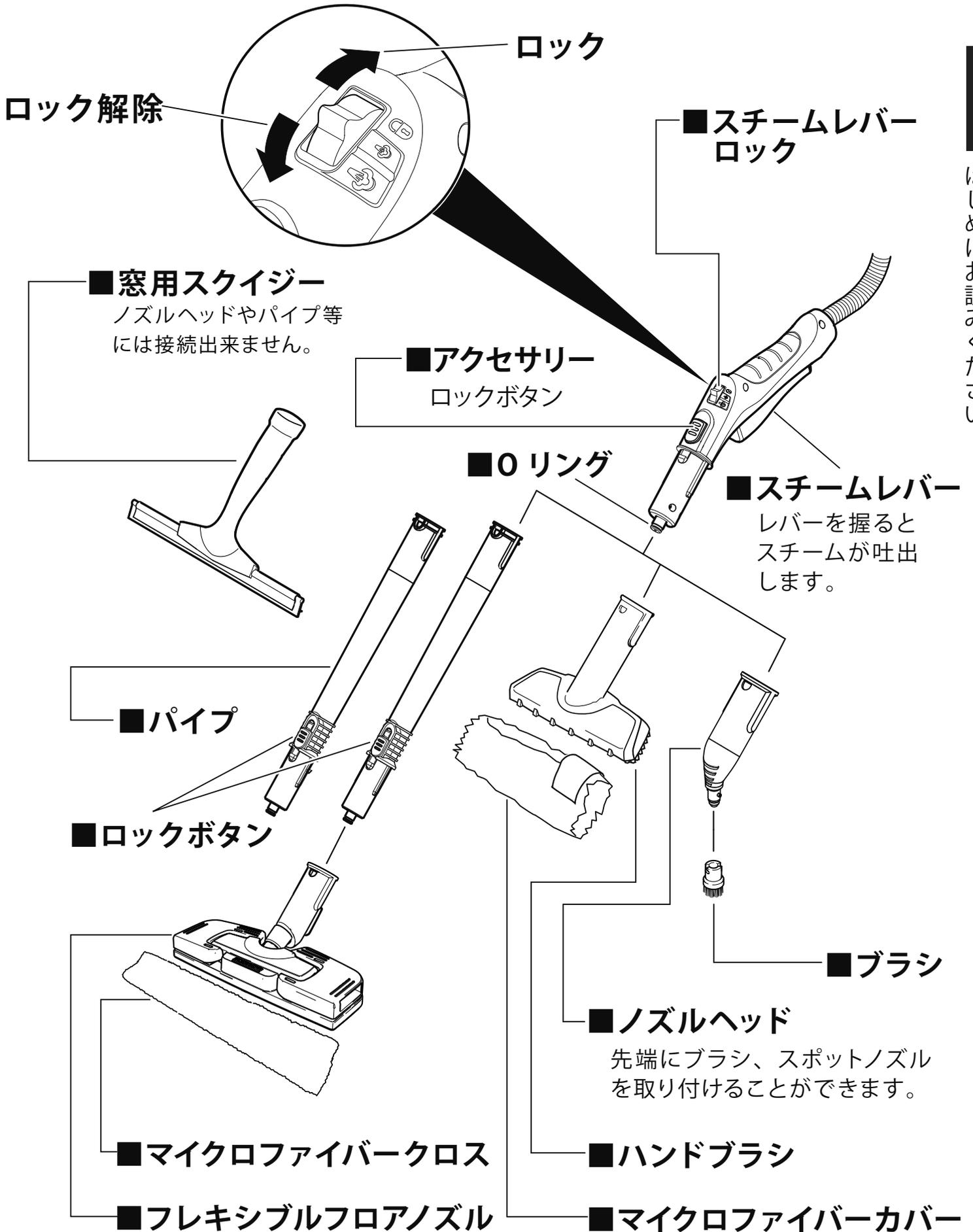
- ・保証書
- ・保証内容
- ・お問い合わせ
- ・修理品送り先

はじめにお読みください

各部の名称と機能



「窓用スクイジーはノズルヘッドやパイプ等に接続することはできません。」



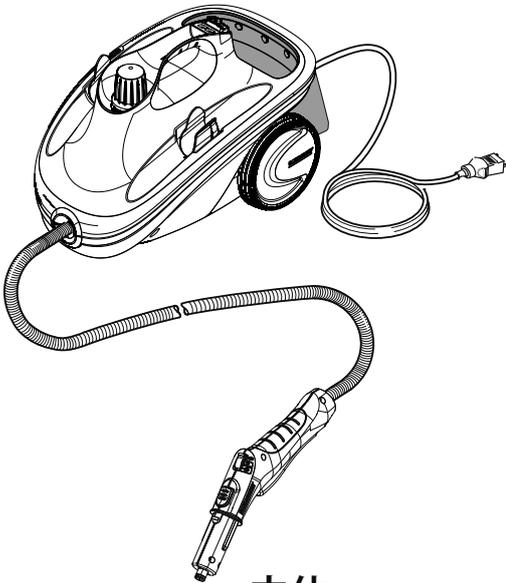
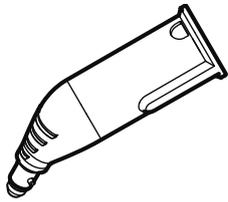
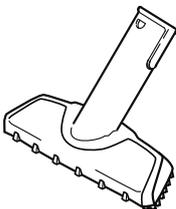
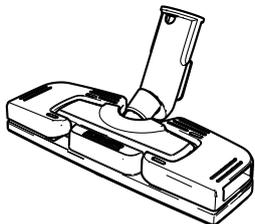
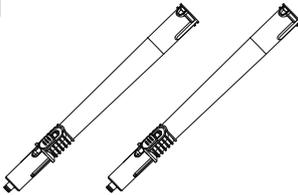
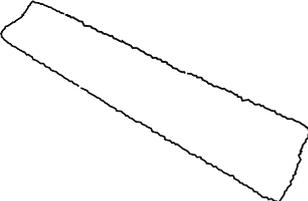
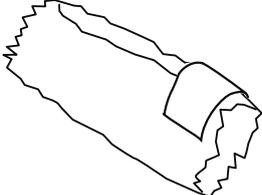
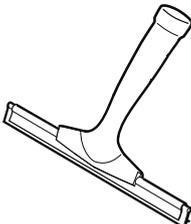
はじめにお読みください

はじめにお読みください

組み立て前の部品一覧

※本機をご使用いただく前に、全ての付属品がそろっていることをご確認ください。

※仕様変更・セット品の変更により、製品の形状と図・名称が一致しない場合があります。

<p>1</p>  <p>本体</p>	<p>2</p>  <p>キャスター 1個</p>	
<p>4</p>  <p>ノズルヘッド</p>	<p>5</p>  <p>ハンドブラシ 1個</p>	<p>3</p>  <p>ホイール 2個</p>
<p>7</p>  <p>フレキシブルフロアノズル 1個</p>	<p>6</p>  <p>パイプ 2本</p>	<p>8</p>  <p>マイクロファイバークロス 1枚</p>
<p>10</p>  <p>マイクロファイバークバー 1枚</p>	<p>9</p>  <p>窓用スクイジー 1個</p>	<p>11</p>  <p>ブラシ 1個</p>
<p>12</p>  <p>アクセサリバッグ</p>		

安全上のご注意

◎ご使用前に必ずお読みください。

警告表示について

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定されている内容」を示しています。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されている内容」を示しています。

本文中や本体に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



の記号は「してはいけないこと（禁止）」を示しています。



の記号は「必ず実行してほしいこと」を示しています。



洗浄は自己責任で行うこと

万一洗浄対象物に損傷、破損、変色などが生じた場合、もしくは正しく操作をせずけがを負った場合、当社では一切の責任を負いません。

ご使用時の注意点



取扱説明書に従って正しく使用すること

本体の変形・洗浄面の損傷・ショート・水もれや、思わぬ事故・けがの原因となります。

子供には触らせないこと

子供が近づかないようにしてください。けがをする恐れがあります。

改造禁止

火災、感電、けがの原因になります。

ケルヒャー純正部品以外の、機械の性能や機能に適さない部品を取り付けて使用しないでください。

火気のそばに置かないこと

本体が変形し故障や火災につながる恐れがあります。



本体、電源プラグに水をかけないこと

感電やショートする恐れがあります。

スチームを人体に向けて使用しないこと

やけどの原因になります。

異音、異臭、過熱時は直ちに使用を中止すること

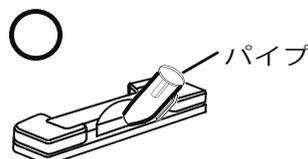
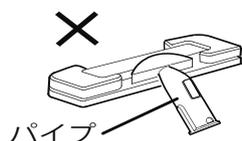
本体の異常を感じたら直ちに使用を中止し、点検・修理を依頼してください。

雨天時に野外で使用したり、水を本体に直接かけたりしないこと

絶縁、劣化により感電やショートの恐れがあります。

フロアノズルは逆にして使用しないこと

フロアノズルはパイプを下向きにすると外れるため、スチームが漏れてやけどを負う恐れがあります。フロアノズルのパイプ部分は必ず上向きに使用してください。



汚染された可能性のある場所を洗浄する場合はマスクなどの適切な防護具を身に着けること

汚染物質が飛散し人体に悪影響を生じる場合があります。

修理はケルヒャー ジャパン本社修理センターに依頼すること

個人の修理で生じたけが、事故、不具合に関しては一切の責任を負いません。補修部品の販売はいたしかねます。

電気に関する警告

電源プラグやコードは正しく使用すること

火災・感電・ショートの原因となります。

タコあし配線はしないこと

複数の電気製品（パソコン・電子レンジ・ドライヤーなど）を同じコンセントで使用した場合、電源ケーブル、コンセントや屋内配線の過熱につながり、火災を引き起こす恐れがあります。



コードを引っ張らないこと

引き抜くときは先端のプラグを持ってください。コードが損傷すると、感電やショートを起こし火災を引き起こす恐れがあります。

スイッチを入れたまま電源プラグを抜かないこと

感電する恐れがあります。

濡れた手で電源プラグを触らないこと

感電する恐れがあります。

電源プラグは確実に差し込むこと

コンセントに接続した際にゆるみ、ガタつきがある場合、製品や電源プラグ、屋内配線の過熱につながり、発火を引き起こす恐れがあります。

電源プラグが変形している場合は使用しないこと

電源プラグが変形していたり、電源プラグの先端が曲がっている場合は、製品や電源プラグ、屋内配線の過熱につながり、発火を引き起こす恐れがあります。



コンセントは本製品だけ（単独）で使用すること

他の電気製品と同じコンセントを共用できません。

洗面化粧台のコンセントは電気の最大許容量をご確認ください。

交流 100V 単相電源専用

異種電圧で作動させた場合、火災の恐れがあります。

ラベルに記載された電源でご使用ください。

延長コードは 15A 仕様を使用し、10m以上延長しないこと

規格以下の延長コードを使用した場合、製品や延長コード、屋内配線の過熱につながり、火災を引き起こす恐れがあります。15A 以上の規格のものを最長 10mでご使用ください。

コードリールは完全に伸ばして使用すること

コードリールのコードを巻いたまま使用すると、コードリール、製品や延長コード、屋内配線の過熱につながり、火災を引き起こす恐れがあります。

ご使用時の注意点



取扱説明書に従って正しく使用すること

火災・爆発・疾患・けがの原因となります。



使用中は、安全バルブを触ったり、覗き込んだりしないこと

故障時に安全バルブが作動することがあります。

スチームクリーナーには安全装置としてボイラー圧力が高くなるのを防ぐための圧力逃がし弁が安全バルブに組み込まれています。

万一の故障時や定期メンテナンス不備によるボイラー内部への湯あかの付着などによりボイラー内部の圧力が異常に高くなった場合、安全バルブの圧力逃がし弁が作動しスチーム（蒸気）を勢いよく上方に噴き上げます。

絶対に安全バルブの上で作業を行ったり、近づいたり、覗き込んだりしないでください。やけどの恐れがあります。

本体に電源が入っている、もしくは本体がまだ熱いうちは、安全バルブを回さない事

スチームが出なくなった後、スチームレバーを握り続けると、安全バルブが開く場合がありますが、本体が冷めるまで、開けたり、給水したりしないでください。お湯が噴き出しやけどをする可能性があります。

安全バルブは本体が十分冷めてからあけること

安全バルブは本体が人肌以下まで冷却された後開けてください。熱い状態で開けた場合湯が噴き出し、やけどの原因となります。

安全バルブのOリングを確認すること

電源を入れる前に確認をしてください。

Oリングに亀裂、割れなどがある場合は絶対に使用しないでください。



長年使用のスチームクリーナーは定期点検を実施すること

点検を実施しない場合、安全バルブからスチーム吐出、ボイラーの加熱不良、過熱、スチーム吐出不良などのさまざまな不具合が生じ、安全作業ができなくなります。また、点検を実施しない場合スチームが噴き出しやけどをする恐れがあります。点検を依頼してください。週に1、2回1時間程度の使用頻度の場合、2年に一度を目安に点検をおすすめします。

作業場所から離れる場合はスイッチを切ること

使用方法を知らない方が操作された場合、けがをする恐れがあります。

常温水を使用すること

湯を入れた場合、機器が正しく作動せず、やけどを負う場合があります。安全上必ず常温水を使用してください。



注意

取扱説明書に従って正しく使用すること

思わぬ事故の原因となります

アクセサリー接続口の O リングが装着されていない、もしくは損傷している場合には使用しないこと

スチームがもれてやけどの原因となります。

アクセサリーは確実に取り付けること

確実にロックされていない場合スチームがもれ、やけどの原因となります。

クロスクリップに指を差し込まないこと

クロス脱落防止のためクリップは鋭くなっています。

指を差し込まないでください。

本体を倒したり、立てた状態で使用、また保管したりしないこと

ボイラーが損傷する場合があります。



熱に弱い床材の上で使用しないこと

熱で変形・変色・白濁する場合があります。

ガラス製品に傷がある場合は洗浄しないこと

割れる場合があります。

水道水以外の液体は絶対に使用しない

溶剤(シンナーなど)、油(ガソリン、灯油など)、アルカリイオン水、酸性水などを使用しないでください。使用した場合本体が壊れる場合があります。

また、蒸留水はボイラーを傷める原因となりますので使用しないでください。

水道水のみで使用してください

洗剤や薬品、香水を入れないこと

洗剤や薬品、香水を入れた場合、ボイラーの破損、薬品火傷、健康に悪影響を及ぼす場合があります。

水道水のみでご使用ください。

スチームホースを無理に引っ張ったりねじったりしないこと

スチームホースが損傷します。

ご使用時の注意点



取扱説明書に従って正しく使用すること

思わぬ事故の原因となります

手袋などの保護具を着用すること

作業時は手などに直接スチームがかかる場合や、汚れがはね返る場合があります。やけどやけがの防止のため適切な保護具を身に付けてください。

ガラス製品、窓ガラス、鏡の掃除には注意すること

- 2秒以上同じ場所にスチームをあてないでください。
- 網入り（ワイヤー）ガラス、厚板ガラスの掃除は特にご注意ください。ガラスの膨張率の違いにより割れる場合があります、けがをする恐れがあります。

洗浄前に材質を確認すること

洗浄の前に必ず洗浄物の材質を確認してください。
スチームは100℃近い温度で出ます。
洗浄部分の材質によっては変色・変形など洗浄物を傷める恐れがあります。
目立たない部分で試してください。

レバーロックをかけること

アクセサリーの着脱はレバーをロックした状態で行ってください。
ロックしていない場合スチームレバーに誤って触れスチームが噴出しやけどを負う場合があります。

本機は使用 50 時間ごとにボイラー洗浄（スケール除去）を行うこと

湯あかがたまると故障の原因となり、安全弁が作動する場合があります。必ず純正ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）を用い定期的にボイラーの洗浄（湯あかの除去）を行ってください。

水を排出、補給する場合は冷却後に行うこと

必ず本体が人肌以下に冷却された後に安全バルブを外し、水の排出、補給を行ってください。本体が熱いうちに安全バルブを開ける、あるいは給水すると、湯が噴き出しやけどを負う場合があります。

凍結する場所には保管しないこと

凍結した場合、ボイラーが故障します。

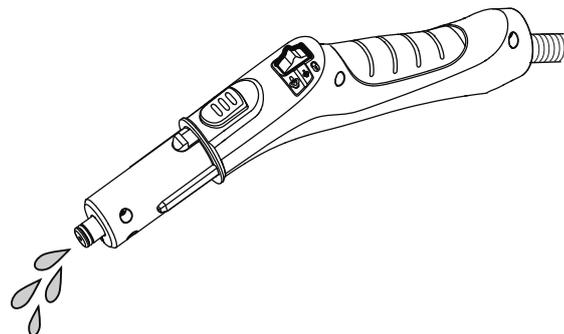
違和感や熱いと感じたら

スチームレバーを握り続けて使用すると低温やけどを負う場合があります。
違和感や熱いと感じたら、直ちに使用を中止してください。

特にご注意いただきたいこと

◎使い始めについて

使い始めはお湯が出ます。
洗浄を始める前にレバーをひと握りし、
しっかりしたスチームが出る状態に
なってから始めましょう。
床が濡れたり、汚れ落ちが悪い要因に
なります。



◎ボイラー洗浄について

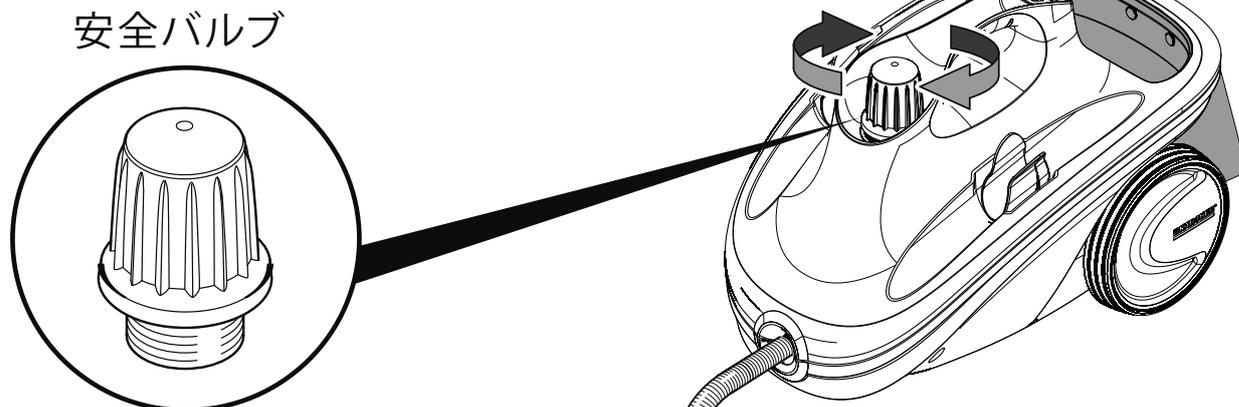
ボイラー内部に湯あかが付着した場合に
ボイラー洗浄剤を使って除去します。
使用を重ねていくとボイラー内部に湯あか
が付着し、温度が上がりにくくなります。
また、湯あかの付着は、故障の原因にも
なります。
湯あかが付着した場合は、別売 RM511
ボイラー洗浄剤をお買いもとめください。



6.290-239.0
RM511 ボイラー洗浄剤

◎保管について

長期保管する場合には安全バルブの水気をしっかり拭き取り、
安全バルブをゆるめに閉めてください。
使用后、安全バルブをきつく閉めて保管すると再度使用する場合、
開かなくなることがあります。



保管する時は安全バルブをゆるめに閉める

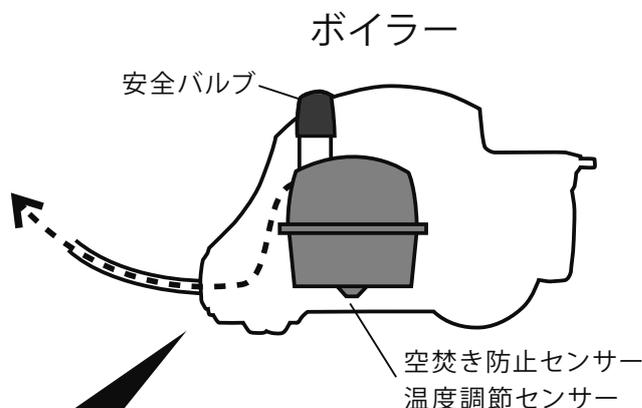
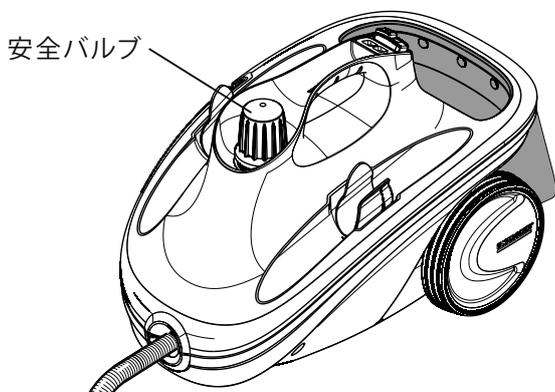
安全上のご注意 「使い始め ボイラー洗浄 保管について」

スチームクリーナーとは？

スチームクリーナーとは？

スチームクリーナーは圧力鍋としくみが似ています。
水を入れ、密閉したボイラーで約 143℃まで熱し、スチームを発生させます。
吐出されるときは温度は約 100℃と高温でさらっとしたスチームが特徴です。
油汚れなど温めると落ちやすい汚れに効果的です。
水分が少ないのでおうちの中のさまざまな場所でお使いいただけます。
※熱に弱い材質、壁紙、プラスチックなどは変形・はがれなどの恐れがあります。
目立たないところでお試しすることをお勧めします。

スチームクリーナーの基本の仕組み



安全設計 4 つのポイント

温度調節センサー

ボイラー内の温度が一定温度に達すると加熱を止め、温度が下がると再度加熱を繰り返すので異常加熱の心配がありません。

空焚き防止センサー

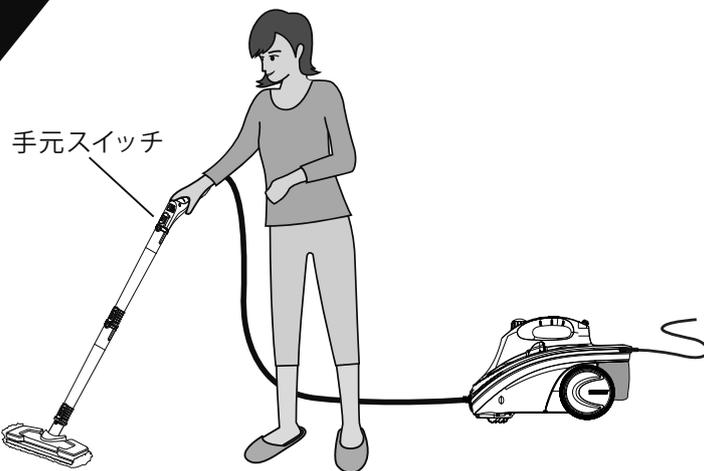
ボイラー内の水が無くなると、自動的に加熱を停止します。

安全バルブ

ご使用中は、給水部分を開けることができない安全設計です。

手元スイッチ

手元のレバーを握ってスチームを出します。レバーを離すとスチームも止まるので安心です。



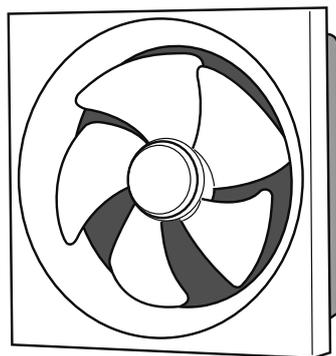
あると便利です

手袋
ホースやレバーが熱く感じる時

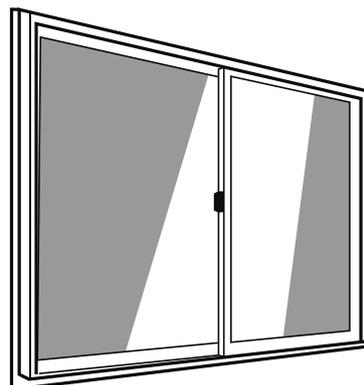
雑巾、雑布
スチームで溶かした汚れをふき取るとき

家中さまざまなところに使えます。

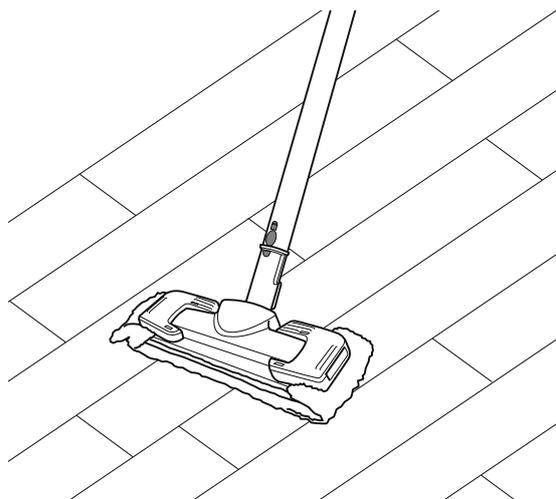
お台所のガスコンロや、
換気扇の油汚れのお掃除に



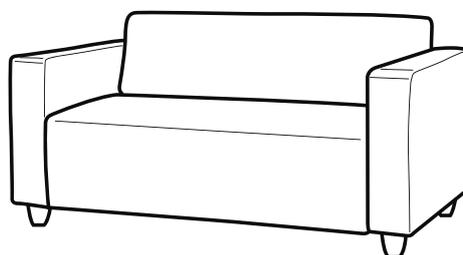
窓ガラスやサッシの
お掃除に



フローリングや畳の
お掃除もラクラク



ソファや車のシートなど
布製品のしみとりに



スチームクリーナーとは？「スチームクリーナーのご説明」

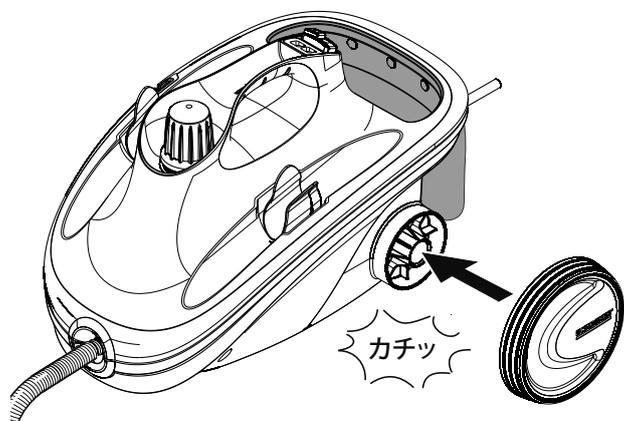
高温スチームの除菌能力について

ケルヒャーのスチームクリーナーでフローリングを正しく掃除すると、一般家庭の細菌が99.99%除菌されます（表面の硬い場所を清掃した場合）。

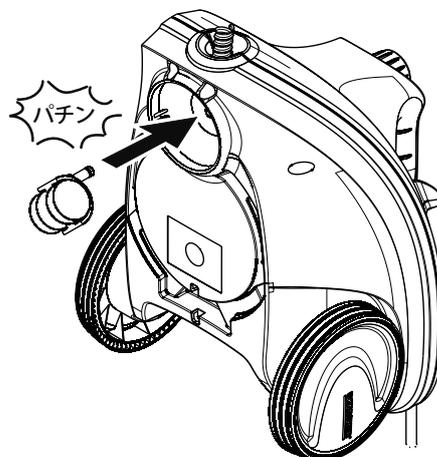
組み立て方

「ホイールとキャスターの取り付け」

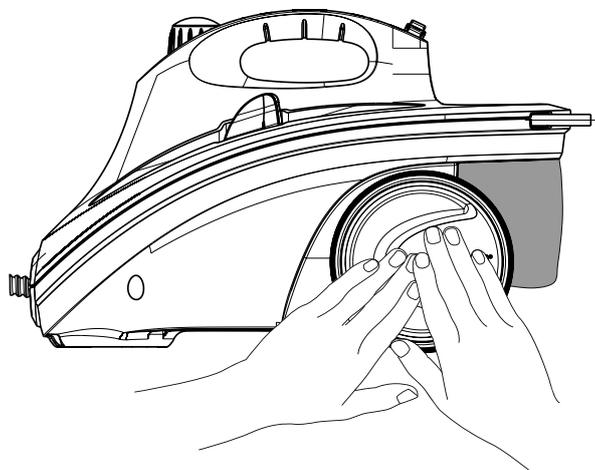
① ホイールを本体に取り付けてください



② キャスターを本体に取り付けてください

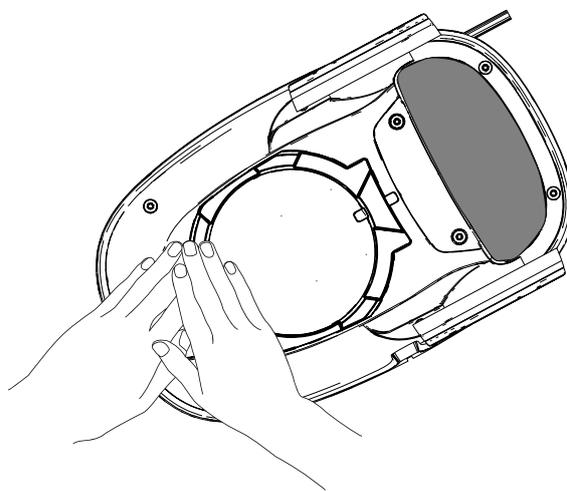


ホイールが固いときは



両手で、カチッと押す。

キャスターが固いときは



裏返して両手で、パチンと力を入れて押し込みます。

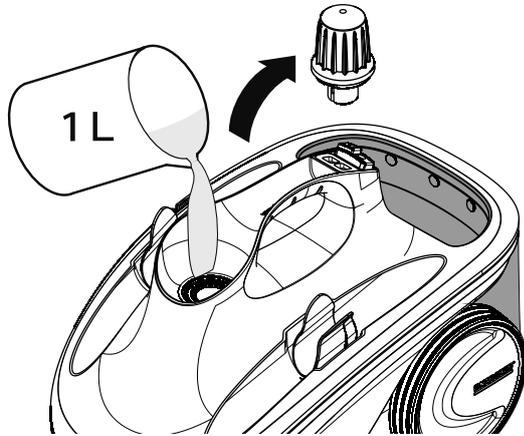
本体を裏返すときは、本体にキズが入らないようにタオルなどを敷きましょう。通電や給水はしないでください。

準備しましょう

「給水」

※ご使用前にボイラー内部を水ですすいでください。稀に白濁した水が出る場合があります。

③ 水を入れましょう



安全バルブを取り外し、水（30℃以下）を最大 1.0L までゆっくりと補給してください。水を入れすぎると、スチームが水っぽくなり、湯がでます。

最低使用給水量：0.5L
最大使用給水量：1.0L

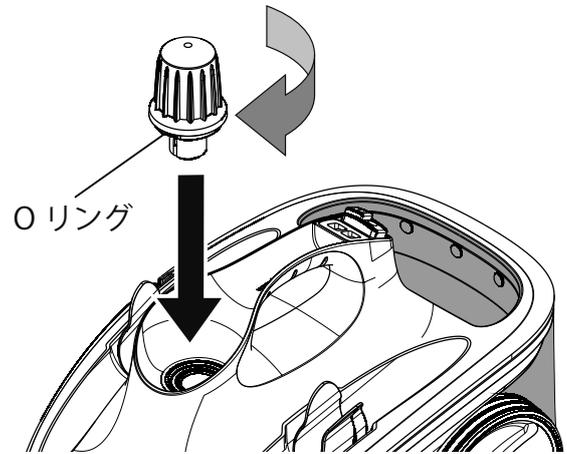
ヒント：1 合（180 cc）のお米カップなら 5 回分で約 1L です。



注意

- 常温水を使用すること
- 水以外の液体は絶対に使用しないこと
溶剤（シンナーなど）、油（ガソリン、灯油など）、アルカリイオン水、酸性水などを使用しないでください。使用した場合本体が壊れる場合があります。水道水のみで使用してください。
- スイッチを切ってから給水すること
水を入れる際は、安全のためにスイッチを切り、電源プラグを抜いてから入れてください。
- 安全バルブは必ず本体が冷めてから開けること
- 本体が熱いうちは水を入れないこと
やけどを負う場合があります。

④ 安全バルブをしめる



安全バルブの O リングに異常がないことを確認し、安全バルブを取り付けてください。O リングを外した場合は装着部位の溝に戻してください。

※加熱を始めると安全バルブは空回りして開けることができません。

本体が人肌以下に冷めると再び開けることができるようになります。



注意

- 安全バルブの O リングを確認すること
給水ごとに確認をしてください。
O リングに亀裂、割れなどがある場合は絶対に使用しないでください。

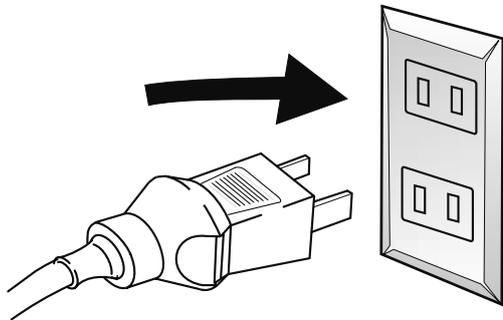


注ぎ口の水はタオルなどで拭い取ってください。
水が注ぎ口に残っている場合、加熱を始めた際に蒸気となり、スチーム漏れと間違える場合があります。

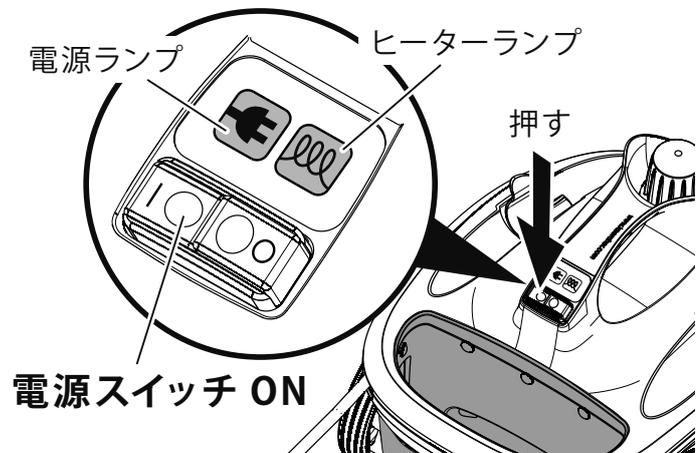
※給水するための容器は付属しておりません。

準備しましょう「給水」

⑤ 電源プラグをコンセントに差し込む



⑥ スイッチを入れる



電源プラグをコンセントにしっかり奥まで差し込んでください。

ヒーターランプは点灯と消灯を自動で繰り返します。

スイッチを押すとヒーターランプが点灯して加熱が始まり、ボイラー内が約 143℃に達すると自動的に加熱を停止、ヒーターランプが消灯します。

スチームを出すとボイラー内の温度が下がるため、点灯と消灯を繰り返します。



電源を入れる前に、ボイラー内に給水してください。



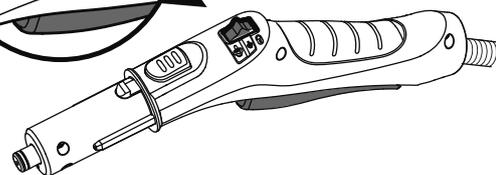
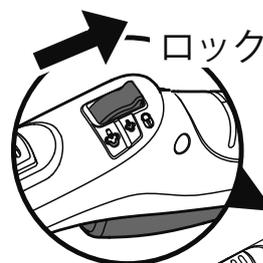
電源を入れる前に、必ずスチームレバーをロックしてください。



注意

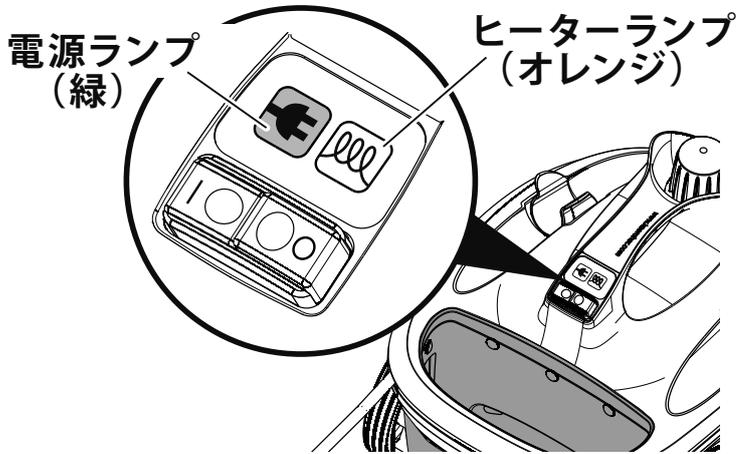
本製品は 1,500W仕様です。

- 他の電気製品と同じコンセントを共用できません。
- 洗面化粧台のコンセントは電気の最大許容量をご確認ください。



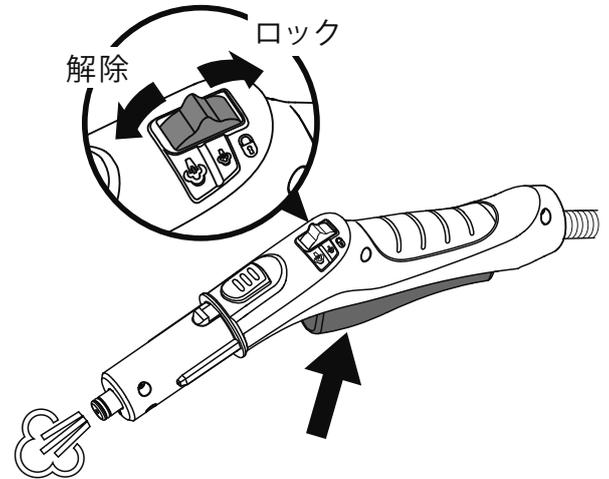
「使用する前に必ずスチームホース内のお湯を出し、スチームが出ることを確認してください。使い始めには必ずお湯が出ます。」

⑦ 約6分



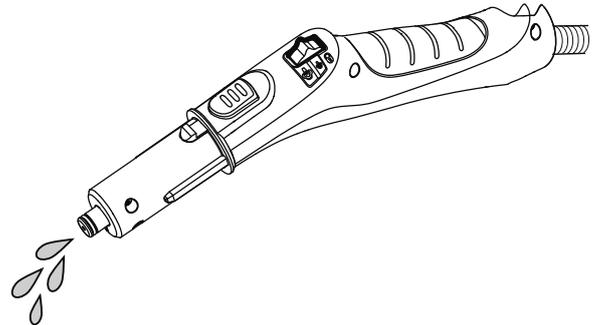
約6分後ヒーターランプ（オレンジ）が消灯した後、使用を開始することができます。ヒーターランプが消えても、スイッチを切らないでください。
※加熱時間は水温により異なります。

⑧ スチームが安定するまでレバーを握る



スチームレバーロックを前方にスライドさせロックを解除します。

スチームレバーを握ると、スチームを出すことができます。



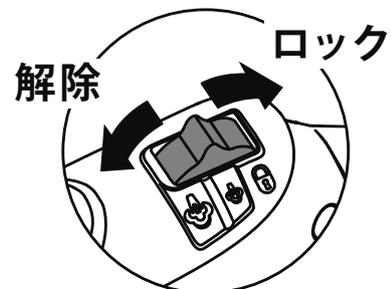
ヒント

スチームの出が安定しない時は、30秒ほどスチームレバーを握ってください。



注意

- 作業を始める時、中断した場合
洗浄作業を行う前に、必ず布などに向けてスチームホース内の湯を出し、スチームが出るのを確認してから洗浄を行うこと。
作業を中断（約1分以上）した場合、スチームホース内に湯がたまり、再度使用する際にノズルから噴出する場合があります。
- 本体を倒したり、立てた状態で使用しないこと
ボイラーが破損する場合があります。



ロック
使用しない時、アクセサリを交換する時は必ずロックしてください。



スチーム弱
スチームを弱くできます。



スチーム強
スチームが出る量が最大

使い方

「きれいにする場所に合わせてアクセサリーを選びましょう」

サッシ
タイルのカビ
キッチンや
換気扇の
油汚れ

ソファ
網戸
レンジフード
車のシート
衣類のしわ
伸ばし

畳
フローリング
カーペット

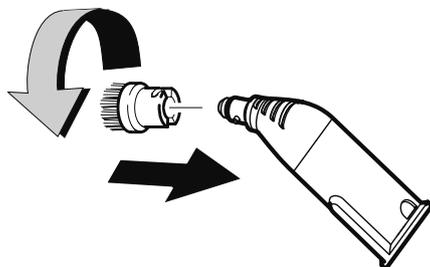
9

必ずスチームレバーのロックをして付け替えましょう。

ノズルヘッド+ブラシ

<ブラシの取り付け方法>

ノズルヘッド先端部の爪とブラシの刻みを合わせて差し込み、時計回りに回して固定します。

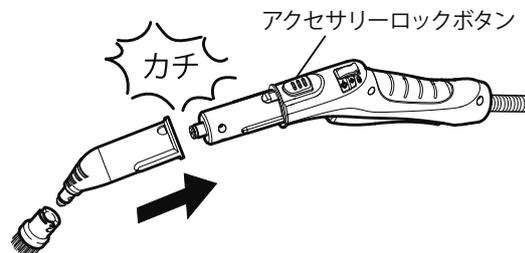


<取り外し方法>

ブラシを反時計回りに回し、引き抜いてください。

<ノズルヘッドの取り付け方法>

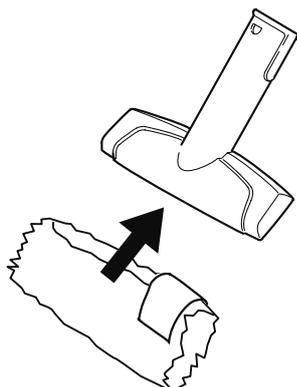
カチと音がするまで差し込みます。



<取り外し方法>

アクセサリーロックボタンを押しながら引き抜きます。

マイクロファイバーカバー+ハンドブラシ



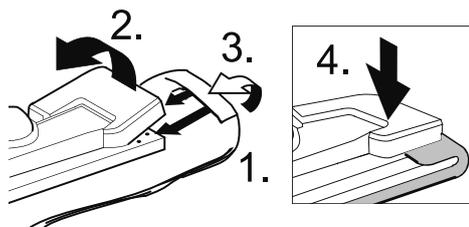
<カバーの取り付け方法>

ハンドブラシに被せて使用します。



フレキシブルフロアノズル+パイプ

※クロスクリップに指を挟まないこと



<取り外し方法>

クロスをフロアノズル幅にたたみ両側をクロスクリップで挟みます。

※市販のタオルを使用する方法については P25 をご覧ください。



「スチームの温度は噴き出し口で約 100℃です。材質や耐熱温度によっては使用できない場合があります。予め目立たないところでお試してください。」

サッシ



サッシレールの砂ぼこり、汚れはブラシをつけてこすります。細かい溝の汚れはノズルヘッドで吹き飛ばします。

キッチン周り



レンジフードにこびりついた汚れは、ハンドブラシにマイクロファイバークロスをつけて、スチームを出しながら、ゆっくりと動かします。

お風呂の汚れ



ノズルヘッドにブラシをセットして、こすり洗います。
※シリコン製の目地にはスチームを長時間当てないで下さい。変形することがあります。
※材質が染まった汚れは落ちません。

ソファ



車のシート



※画像と製品は一部異なります。

網戸



ハンドブラシにカバーを付けてやさしくなぞります。
同じ場所に長く当てず、動かしながら使います。
カバーがだんだん汚れてくるので交換しながら使しましょう。
壁紙は熱でのりがはがれることがありますので、短時間で仕上げましょう。

畳・カーペット・フローリング

フレキシブルフロアノズルにクロスを取り付け、スチームでクロスを温めて汚れを拭き取ります。

<ヒント>

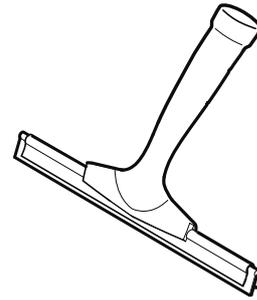
スチームを出し続けるとクロスがぬれてきますので

- ①スチームレバーを3秒程握りクロスを温めます。
温まったらレバーを放して3秒程拭いてこの手順を繰り返します。
- ②スチームの吐出量が多い場合は、スチームレバーロックを弱くにしてスチームの量を調整してください。
- ③クロスがぬれてきた場合はクロスを交換してください。



窓

窓用スクイジー

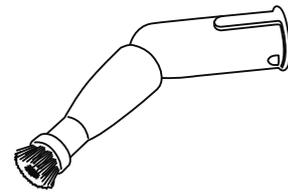


窓にスチームを当て、ガラス全体に予熱を与え汚れを浮かせます。浮いた汚れをスクイジーを使い、上から下へきれいにします。

※ノズルやパイプ等には接続できません。

サッシ
タイルのカビ
キッチンや
換気扇の
油汚れ

スチームターボブラシ (別売オプション)



ブラシ先端が小刻みに振動するため、汚れをこする必要がありません。通常のブラシよりも、洗浄時間を50%短縮できます。

キッチン
お風呂

マイクロファイバークロスセット (別売オプション)

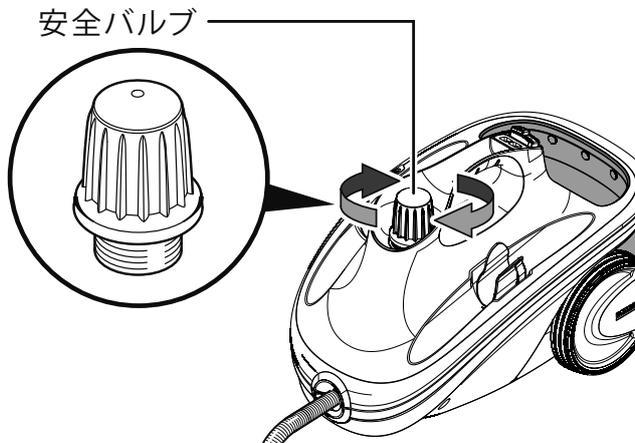


マイクロファイバークロスは繊維がクロスの表面に無数の空間を作り、その空間に水分、汚れ、油分等を吸収し他に汚れを移さず、普通の繊維で落ちない汚れを洗剤なしで簡単に落とすことができます。

使い方

「安全にきれいに掃除するために」

安全バルブの空回りについて



本体が熱いときは、安全のため、安全バルブのふたを開ける事ができません。

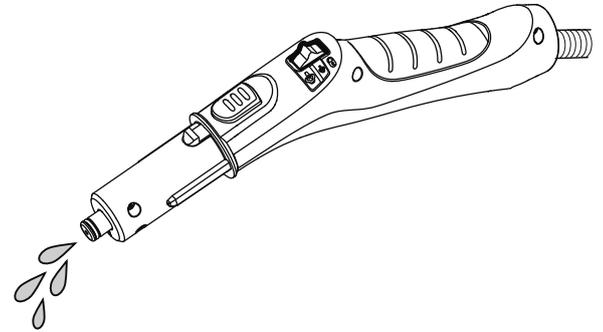
安全バルブは、必ず本体が冷めてから開けてください。

熱いうちに水を補給するのは危険です。安全バルブが開いても、スイッチを切り本体がひと肌程度に冷めるまで待ってから給水を行ってください。

本体が熱いうちに安全バルブを開ける、あるいは給水すると、お湯が噴き出しやけどする場合があります。

※水を入れる際には、安全のためにスイッチを切り、電源プラグを抜いてから行ってください。

使い始めの注意点



使い始めは、お湯が出ます。洗浄を始める前にレバーをひと握りし、しっかりスチームが出る状態になってから必要なアクセサリーを取り付けましょう。

特に床掃除の時などは、それが原因で床がぬれてしまう事もあります。

使い始めだけでなく、しばらく経っても水分が多めのスチームが出る場合は、水を入れすぎている可能性があります。

計量して1L以上入れないようにしましょう。

使い方

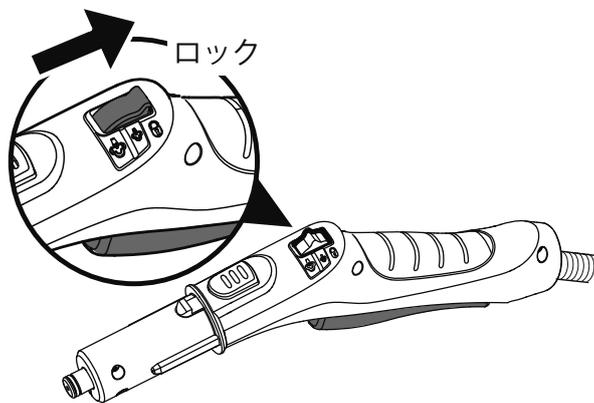
「安全にきれいに掃除するために」

使い方

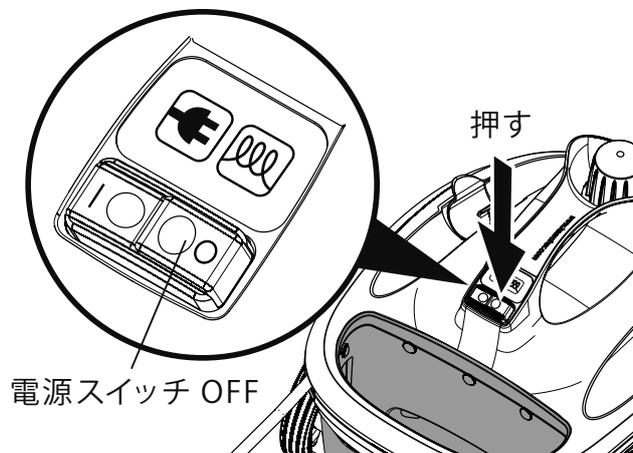
「作業を中断、終了する場合」

10 作業を中断、終了する場合

スチームレバーロックを後方にスライドし、ロックしてください。



11 スイッチを押して電源を切り、電源プラグを抜く



作業を終了する場合は、本体が人肌以下に冷却された後、ボイラーに残った水を捨ててください。

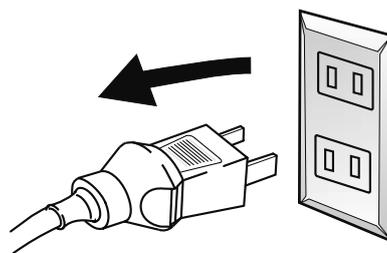
※ボイラーが冷却されるには、約1～4時間程度かかります。

※使用後は毎回ボイラーの水を捨ててください。

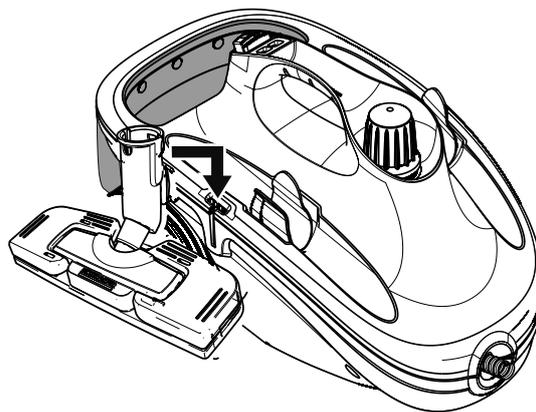
本体が熱いうちは、安全バルブが開いても水を入れないでください。

本体が熱いうちに安全バルブを開ける、あるいは給水すると、お湯が噴き出しやけどする場合があります。

水を入れる際には、安全のためにスイッチを切り、電源プラグを抜いてから行ってください。



電源プラグを抜いてください。



作業を中断する際、フレキシブルフロアノズルを本体右側面のフロアノズルフックに差し込み、本体に立て掛けることができます。

注意

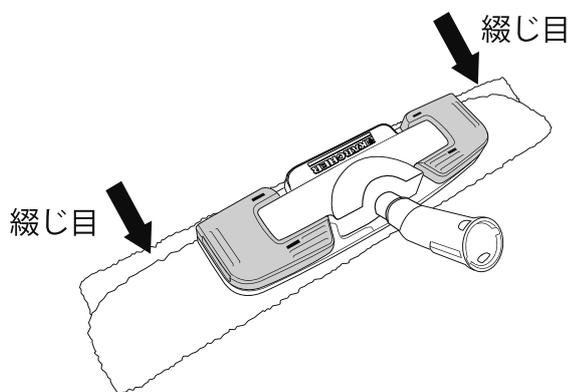
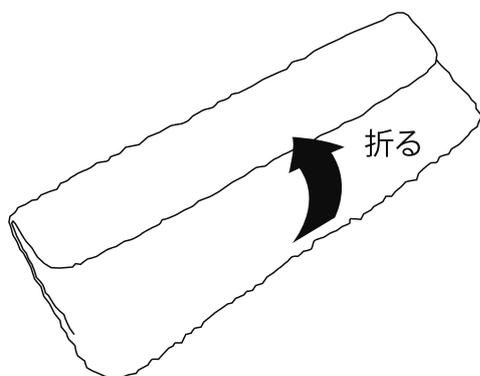
- 作業を中断した場合（約1分以上）
再び洗浄作業を行う前に、必ず布などに向けてホース内の湯を出し、スチームが出るのを確認してから洗浄を行うこと。
- 作業を中断（約1分以上）した場合、
スチームホース内に湯がたまり、再度使用する際にノズルから噴き出する場合があります。



スイッチを切った後、全てのランプが消えていることを確認してください。

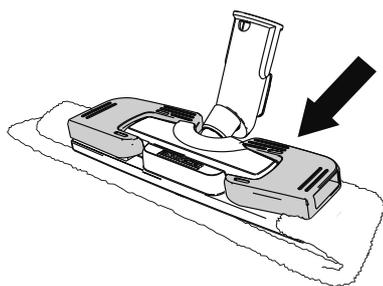
⑫ 市販タオルの上手な取り付け方

フロアノズルのクロスクリップを上げ、三つ折りにしたタオルの片方を挟み、クリップを下げる。もう片方のタオルの端をひっぱりながらクロスクリップに挟み固定する。

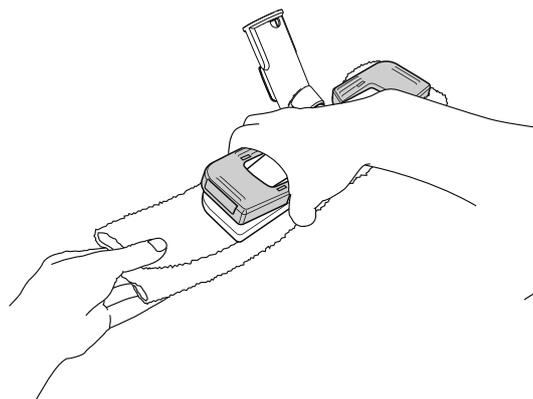


タオルをフロアノズルのサイズに合わせて3つ折りにする

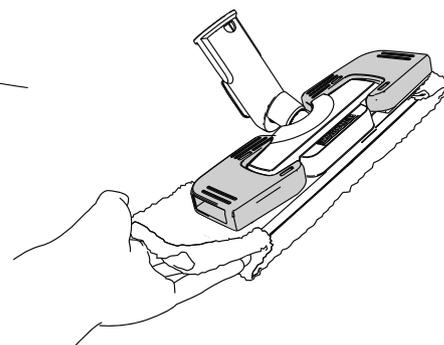
縫じ目をフロアノズルの底面側にする



押すとクリップが上がる

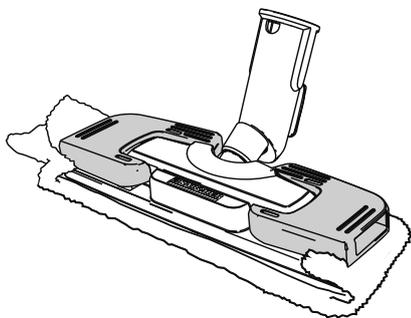


タオルの端を引っ張り、
タオルを張った状態にする



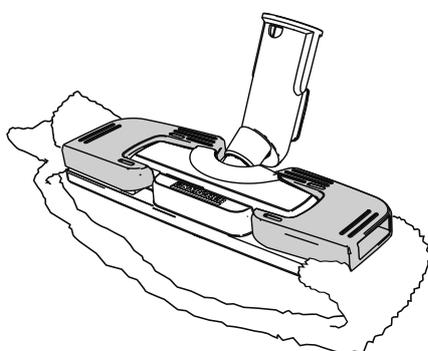
なるべく緩まないようにタオルをクリップに押し込みながら挟む

良い例



装着したタオルに緩みが無い

悪い例



タオルが緩んでいる
緩みがあるとよれ易い

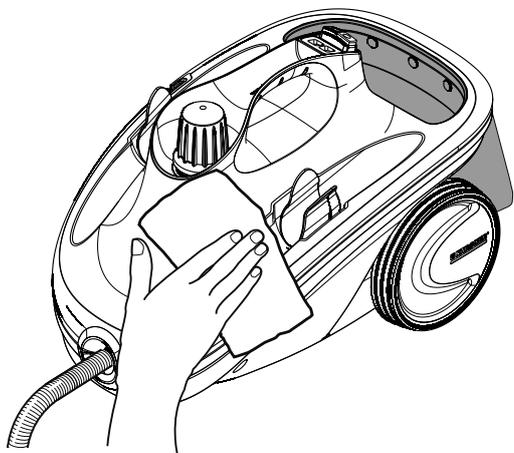


注意

クロスクリップに指を差し込まない様に注意すること
クロスクリップ部分は、タオルが脱落しないように鋭くなっています。

市販のタオルを使用する場合は、フロアノズルの大きさに合わせて適度にカット、もしくは折ってご使用ください。

⑬ 本体のお手入れ



ぬるま湯か中性洗剤を浸した柔らかい布を固く絞って拭き取ってください。

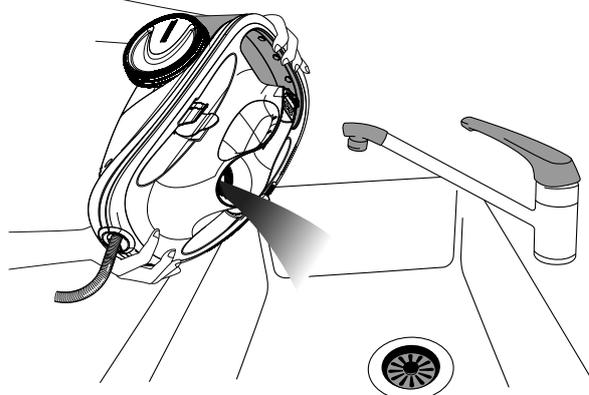
マイクロファイバーについて

使用したマイクロファイバーカバー（ハンドブラシ用）やマイクロファイバークロス（フロアノズル用）は、中性洗剤で洗い、乾かしてください。

クロスやカバーは繰り返し洗ってお使いいただけますが柔軟剤はお使いにならないでください。

洗濯機で洗う場合は 60℃までのお湯をお使いいただけます。

⑭ ボイラーのすすぎ （使用 10 回ごと）



スケール（湯あか）の付着を予防するために、ボイラーをすすいでください。

すすぎの目安：使用 10 回ごと

使用を重ねていくとボイラー内部に湯あかが付着し、温度が上がりにくくなります。また、湯あかの付着は、故障の原因にもなります。

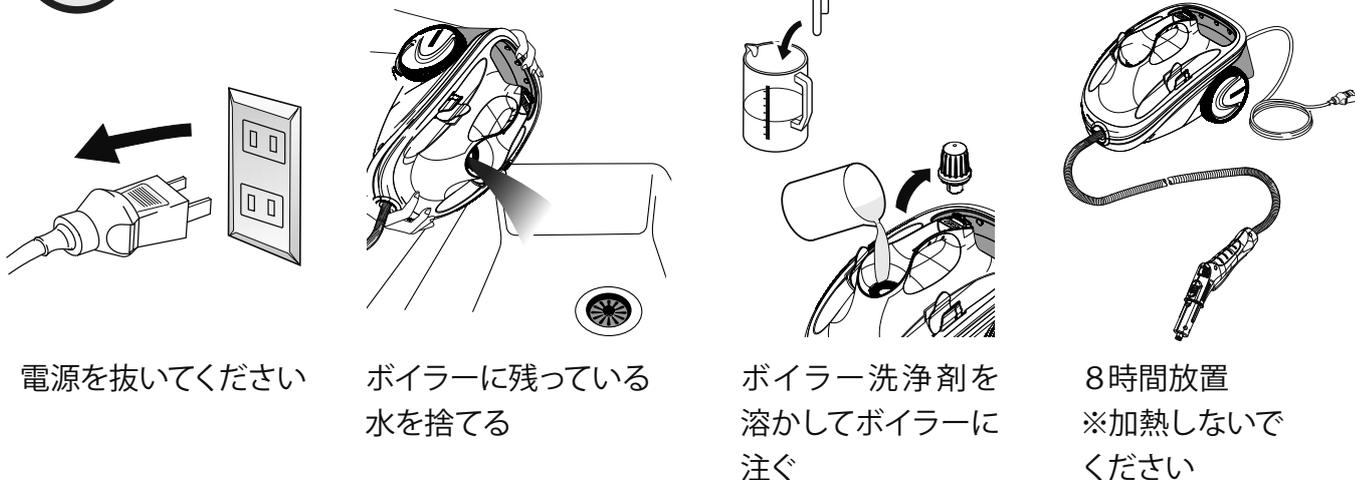
定期的なお手入れで湯あかの付着を防ぎ、安全にご使用ください。

すすぎ方

- ①スイッチを切って電源プラグをコンセントから抜き、本体を人肌以下に冷やしてください。
- ②安全バルブを外し、ボイラーに残っている水を全て捨ててください。
- ③ボイラーに水を入れ本体をよく振り、その後水を捨ててください。
この動作を 3 回繰り返してください。
すすぎが不十分な場合故障の原因となります。
※水がこぼれないようにご注意ください。
※本体カバーの端などでけがをしないように十分ご注意ください

(ボイラー洗浄剤はオプションアクセサリーです。P33 をご覧ください。)

15 ボイラーの洗浄方法



電源を抜いてください

ボイラーに残っている水を捨てる

ボイラー洗浄剤を溶かしてボイラーに注ぐ

8時間放置
※加熱しないでください

- ①ボイラー内をすすいでください。
- ②ボイラー洗浄剤(スケール除去剤)を1.5本用意してください(スティックは簡単に折れます。)
- ③容器に1.0Lのぬるま湯を用意し、ボイラー洗浄剤(スケール除去剤)を入れ、溶かしてからボイラーに注いでください。
- ④安全バルブを外した状態で約8時間放置してください。
- ⑤8時間後ボイラーの水を捨て、清水で3回以上すすいでください。
- ⑥安全バルブを閉めてください。
- ⑦室内に保管してください。

※余ったボイラー洗浄剤(スケール除去剤)は、湿気のない場所で保管してください。

※水がこぼれないようご注意ください。

※本体カバーの端などでケガをしないように十分ご注意ください。

ボイラーの洗浄は50回毎または、ボイラー内に湯あかが付着した時に洗浄してください。

長期間保管する場合には安全バルブの水気をしっかり拭き取り、安全バルブをゆるめに閉めてください。再度使用する場合に開かなくなることがあります。

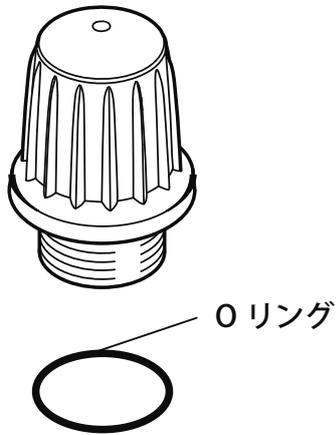
※ボイラー洗浄剤を溶かすための容器は付属していません。



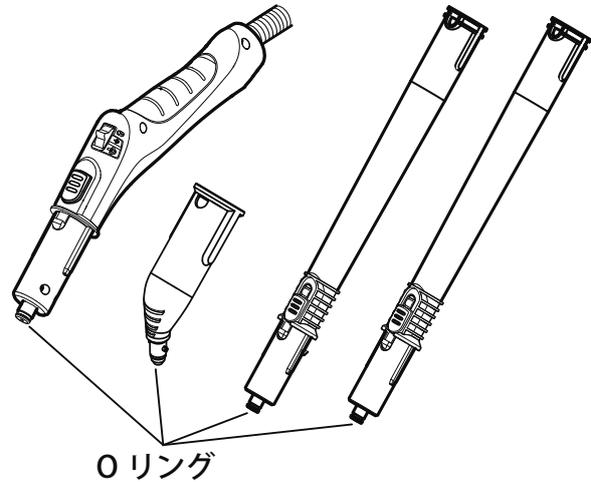
注意

- お手入れをする場合には必ず機械が冷めた状態で行うこと
- スイッチを切り、電源プラグを取り外した状態で行うこと
- 「ボイラー洗浄剤(スケール除去剤)について」の裏側にある使用方法をよく読んで使用すること

16 安全バルブと Oリングの交換



17 アクセサリー接続口のOリ ングについて



安全バルブの O リングに異常がないことを確認してください。
O リングを外した場合は装着部位の溝に戻してください。

安全バルブ

約1,000作業時間ごと交換

安全バルブ O リング

約200作業時間ごと交換

アクセサリ（ホース一体型ヘッド・ノズルヘッド・パイプ）接続口の O リングが装着されていない、もしくは損傷している場合、新しい O リングを装着してください。



注意

- 安全バルブ、Oリングが損傷するとスチームもれが発生する恐れがあります。
- 規定時間以内でも損傷がある場合は交換してください。

- 補修部品のお買い求めは販売店もしくはお客様専用ダイヤルまでお問い合わせください。

18 定期点検について

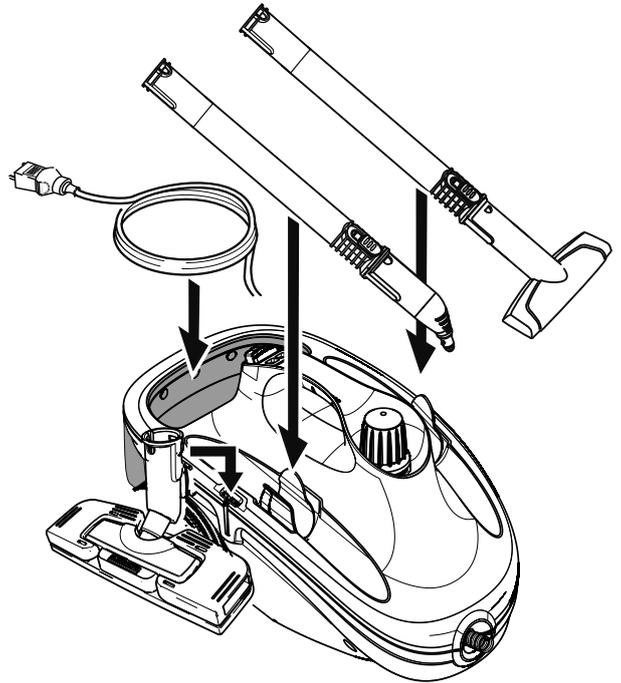
定期点検



長年使用したスチームクリーナーは
定期点検をおすすめします。

週に1回、1時間程度の使用頻度の
場合、2年に一度を目安に点検を
おすすめします。

19 保管方法



■点検のご依頼は
お買い求めの販売店、もしくはお客様専用
ダイヤルまでお問い合わせください。

収納ポケット、パイプホルダー、ノズルフック
に付属品を収納した後、保管してください。



注意

- 点検を実施しない場合
安全バルブからのスチーム吐出、ボイラー
の加熱不良、過熱、スチーム吐出不良な
どのさまざまな不具合が生じ安全作業が
できなくなります。
- 安全に製品をご使用いただくために
保証期間（1年）を過ぎて、少しでも
気になる点がございましたら、安全のた
め有償点検をおすすめします。
- 点検を実施しない場合
蒸気が噴出しやけどをする恐れがあります。



注意

- 保管前に必ずお手入れをすること
- ボイラーの水を抜いた状態で保管すること
- 安全バルブを閉めた状態で保管をす
ること
長期間保管する場合には、安全バルブ
をゆるめに閉めてください。
再度使用する場合に開かなくなること
があります。
- 屋内のホコリのかからない凍結しな
い場所に保管をすること
凍結した場合には、自然解凍をして
ください。
- 本体を倒したり、立てた状態で保管
しないこと。ボイラーが損傷する
場合があります。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら以下のことをお確かめください。

それでも解決しない場合は、**お客様専用ダイヤル**

(0120-60-3140) までお問い合わせください。

このような時	原因	対処法
スチームが出ない	電源プラグがコンセントに接続されていない	▶ 電源プラグをコンセントに接続してください。
	本体のスイッチが入っていない	▶ スイッチを押し、ヒーターランプ(オレンジ)の点灯を確認する。
	水が不足している	▶ 本体が人肌に冷めるのを待って、給水を行ってください。
	スチームレバーがロックされている	▶ ロックを解除してください。
スチームが弱くなる	連続使用でボイラー温度が低下している	▶ 1~2分作業を中断しヒーターランプ(オレンジ)が消えるまで待ってください。
スチームが水っぽい お湯が出る	作業を開始したとき、中断した場合はスチームホースに湯がたまりやす	▶ スチームホース内の湯を布などに向けて排出してください。 ※P23 使い始めの注意点参照
	規定量以上にボイラーに給水している	▶ 本体が人肌に冷めるのを待って安全バルブを開け、再度規定量1.0Lを給水してください。
スチームレバーが握れない	スチームレバーがロックされている	▶ ロックを解除してください。
本体下部より水漏れする	ボイラーが破損している可能性がある	▶ 使用をただちに中止し、修理センターで点検を受けてください。

このような時	原因	対処法
安全バルブが空回りして外れない	本体が十分に冷めていない	▶ 本体を 1～4 時間程度冷まし、それでも外れない場合は、一日おいてから取り外してください。
本体が冷めた状態でも安全バルブが外れない。	ボイラーに残圧が残っている	▶ スチームレバーを握り、ボイラー内の残圧を下げてください。
	安全バルブがきつく閉まっている	▶ 力を入れて左に回してください。開かない場合は販売店またはお客様専用ダイヤルへ修理を依頼してください。
安全バルブからスチームが漏れる	安全バルブが閉まっていない	▶ 電源プラグを抜き、本体が人肌に冷めるのを待って安全バルブを閉めてください。
	安全バルブ O リングが損傷している	▶ O リングが損傷している場合は交換してください。
電源ランプ、ヒーターランプが点灯しない	本体内部の不具合またはランプが切れている	▶ 修理センターで点検を受けてください。
ノズルなどの接続が固い	接続部分の O リングが硬化、または損傷している	▶ 接続が固い場合は水をつけるとスムーズに接続できます。硬化損傷の場合は交換してください。
フロアノズルのパイプが外れる	フロアノズルはパイプを下向きにすると外れます 	▶ フロアノズルのパイプ部分は必ず上向きに使用してください。
電源コードが熱くなる	細い延長コードを使用している	▶ 15A 仕様のコードを使用してください。またはコンセントから直接電源を取ってください。

故障かな？と思ったら

補修部品

フレキシブルフロアノズル

注文番号：4.130-023.0

JANコード：4054278211206



ハンドブラシ

注文番号：2.884-280.0

JANコード：4039784048065



ノズルヘッド

注文番号：4.130-021.0

JANコード：4054278135045



パイプ

注文番号：4.127-024.0

※1本での注文番号です。

JANコード：4039784453395



窓用スクイジー

注文番号：4.512-056.0

JANコード：4039784847590



パイプ、ホース一体型ヘッド用Oリング

注文番号：6.362-922.0

JANコード：4002667185829

ノズルヘッド用Oリング

注文番号：6.362-186.0

JANコード：4002667181494



安全バルブ

注文番号：4.590-105.0

JANコード：4039784420540



安全バルブOリング

注文番号：6.363-468.0

JANコード：4039784391277



※仕様変更等により製品の形状が図と一致しない場合があります。
※注文番号は予告なしに変更になる場合があります。

 <p>窓用ノズル 注文番号：2.863-025.0 JANコード：4054278180502</p> <p>スチームをガラスに吹きかけ、上部に付いたスクイジー（ゴムベラ）で汚れを拭き取ります。</p> <p>※ 予熱を与えてからご使用ください。 ※ 網入りのガラスはご使用できません。</p>	 <p>スチームターボブラシ 注文番号：2.863-159.0 JANコード：4039784060142</p> <p>ブラシ先端が小刻みに振動するため、汚れをこする必要がありません。通常のブラシよりも、洗浄時間を50%削減できます。</p>
 <p>ブラシ4個組 (赤2個、黒2個) 注文番号：2.863-245.0 JANコード：4054278251141</p> <p>お風呂場、台所、トイレなど色で使い分けできます。</p>	 <p>ブラシ3個組 (真ちゅう製) 注文番号：2.863-061.0 JANコード：4002667015577</p> <p>ブラシの毛の部分が真ちゅうでできており、こびりつきのひどい汚れを落とします。</p>
 <p>マイクロファイバークロスセット (お風呂用) 注文番号：2.863-229.0 JANコード：4054278142173</p> <p>フロアノズル用クロス 1枚 ハンドブラシ用カバー 1枚のセット</p>	 <p>マイクロファイバークロスセット (キッチン用) 注文番号：2.863-228.0 JANコード：4054278142166</p> <p>フロアノズル用クロス 1枚 ハンドブラシ用カバー 1枚のセット</p>
 <p>マイクロファイバークロスセット (居間・寝室用) 注文番号：2.863-230.0 JANコード：4054278142180</p> <p>フロアノズル用クロス 1枚 ハンドブラシ用カバー 1枚のセット</p>	 <p>RM 511ボイラー洗浄剤 (スケール除去剤) スティックタイプ (9本入り) 注文番号：6.290-239.0 JANコード：4002667014822</p> <p>ボイラー内部に付着した湯あかを除去します。※使用目安：50回に1回</p>

保証書・アフターサービス

保証書

お買い上げいただいたケルヒャー製品に万一不具合が生じた場合には、この保証規定に従い保証いたします。

この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■保証の内容

お買い上げいただきました製品を構成する純正部品の材料または製造上の不具合が起きた場合、ケルヒャー ジャパン株式会社本社修理センターで無料修理をいたします。

（この無料修理を保証修理といいます。）

保証修理は部品の交換あるいは補修により行います。

また、取り外した不具合部品は当社所有といたします。

保証修理を受けられる期間は新品を購入した日から1年間とします。

■保証できない事項

●修理の際の輸送費用

●次に示すものに起因すると判定される故障は、保証修理いたしません。

- ・取扱説明書の指示に反する使用
- ・保守整備の不備または間違い
- ・当社が提示している仕様の限界を超える使用
（規定以上の長さの延長コードを使用した場合の電圧降下や業務などで定格使用時間を著しく超えた連続使用など）
- ・当社が認めていない改造
- ・純正部品および指定する油脂類以外の使用
- ・ご使用者の不注意による故障（凍結、ボイラー内への異物混入、落下による故障など）
- ・業務で使用した場合

●次に示すものは保証修理いたしません。

- ・経年変化により発生した不具合
- ・プラスチックカバーなどの自然退色、電源コード、ホースのひび割れ、Oリングの劣化、部材劣化に伴う性能低下など
- ・使用に際し品質、機能上影響のない感覚的現象（音、振動など）
- ・台風、水害、雪害などの天災による不具合
- ・薬品、塩害などに起因する不具合

●次に示すものの費用は負担いたしません。

- ・消耗品（油脂、ノズル、安全バルブ、Oリング、パッキン、バルブ、ホース、ブラシ、パット、クロス、およびこれらに類する消耗品）
- ・ケルヒャー ジャパン以外での修理
- ・点検、清掃、調整、及び定期点検整備
- ・この保証書に示す条件以外の補修費用など
- ・本機を使用できなかったことによる不便さ及び損失など
（休業損失、商業損失など）
- ・洗浄対象物に損傷、破損、変色などが生じた場合
- ・正しく操作せずにけがを負った場合

●出張修理はいたしません。

修理はお買い求めいただいた販売店またはケルヒャー ジャパンへご依頼ください。

■保証の適用

この保証は日本国内で使用される当社製品のみに適用されます。
海外へ持ち出す場合は、その時点で保証が抹消されます。

■保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合は、下記保証書の各項目にご記入いただき、お買い上げいただいた際のレシート／納品書を添付の上、保証修理をお申し付けください。
製造番号は、製品の裏側もしくは後部に貼られている銀色のラベルに記載されています。

■保証修理の申し込み方法

ご購入の際に受領されたレシートあるいは納品書と下記保証書を添付の上、お買い上げいただいた販売店にお持ちいただくか、またはケルヒャー ジャパン株式会社本社修理センターまでお送りください。

ご不明な点がございましたらお客様専用ダイヤルまでご連絡ください。

お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

SC JTK 10 PLUS		保証期間： 1年	製造番号：
お買い上げ日： 年 月			
お客様	ご住所：		
	お名前：	電話：() -	
販売店	住所：		
	店名：	電話：() -	
(故障状況)			

ケルヒャー ジャパン株式会社

本 社：〒981-3408 宮城県黒川郡大和町松坂平 3 丁目 2 番

TEL：(022)344-3140

※製品を長くご愛用いただくために「ユーザー登録」いただいたお客様に、サポート情報やキャンペーン情報をメールでお送りしています。ホームページ上部より「サービス」→「家庭用製品」「ユーザー登録」→「ユーザー登録（1年保証）はこちら」からご登録ください。

ケルヒャーホームページアドレス www.kaercher.com/jp/

製品に関するお問い合わせ

お客様専用ダイヤル

0120-60-3140

受付日：月曜日～金曜日（祝日、当社休日を除く）

受付時間：9：00～12：00 13：00～17：00

修理品送り先

〒981-3408 宮城県黒川郡大和町松坂平 3-2

ケルヒャー ジャパン株式会社

本社修理センター 宛

0120-60-3140

修理品をお送りいただく際には、ご購入日がわかるもの（保証期間内に限る）と 3 ページの保証書に故障状況をご記入の上、必ず同梱してください。

1. 保証書が34～35ページに添付されています。レシート、領収書、販売証明書、納品書などのご購入日がわかるものと一緒に大切に保管してください。
2. 保証書の保証内容、保証規定をよくお読みください。
3. 保証期間は保証書に記載されています。
4. 保証期間終了後の修理につきましては当社ホームページの「家庭用 修理・アフターサービス」のページをご覧ください。販売店もしくは上記お客様専用ダイヤルまでお問い合わせください。

右の QRコードから「修理・アフターサービス情報」を当社ホームページよりご確認ください。

